

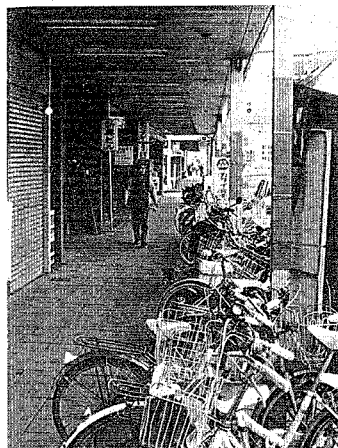
市民ぐるみで 住みよいまちづくりを

環境整備基本条例——その二

先号に続いて「新津市環境整備基本条例」の紹介です。今号は、屋外広告物、ペット類の管理、それに緑に掲載してあります。

アーケードの 通行確保を

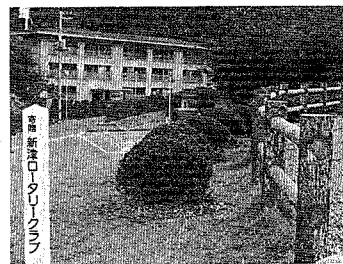
まちの美観、あるいは交通の支障となっているものに、通路にはみ出した広告物や商品があります。屋外における広告物の掲出については、屋外広告物法と



歩行者の安全を守るアーケード

に禁止しています。極めて常識的なことですが、今日ではこれがいまいち問題となっているのが現状なのです。たとえば新津市の場合、本町通りはほとんどアーケードができており、歩・車道が分離されて便利になっています。しかし、駅前通りはアーケード下の土地歩行者通路敷の大部分は車道となっていますが、本町二から本町四までの間のアーケード下は私有地となっています。いわゆる「天下の公道」とはいえないのですが、昔の廊下の時代から、通路として利用されてきたものです。

ところ最近、このアーケード下に広告用の看板や商品類が、はみ出して陳列されているのをよく見かけます。買物客の自転車や商品の空き箱などが山積みされ、そこを通り抜けるに苦労することもしばしばです。車道はもちろん車がふれていて危険です。



秋葉公園をさつきの花園に

さきごろ、新津ロータリークラブの皆さんが、秋葉公園の正面広場に、さつき13本(15万円相当)を植樹してくれました。先号でもご紹介したように、秋葉公園にはライオンズクラブの皆さんもさつきを植樹されており、来年の春が楽しみです。

ペット飼育は マナー守って

また近年は、ペット公害といわれるほど、ペットに関する苦情が市役所へ多く持ちこまれています。たとえば「犬に咬みつかれた」、「隣の犬の吠える声で安眠できない」などです。いま市内では、未登録犬も含めると約千四百頭の犬がいるとみられ、七軒に一頭の割合で犬が飼われていると推測されています。犬や猫などのペット類は、飼っている人にも大変可愛いものですが、でも、飼っていない人、犬、猫が嫌いな人にとっては、大変な迷惑となることがあります。よく聞く話に、郵便配達員が犬に吠えられた、襲われた、というのがありますが、人に迷惑をかけるために、犬、猫にかざらず、ペット類は絶対に放し飼いにしないでください。そして外へ連れ出すときは、短く、丈夫な綱をつけ、糞公賞害をまき散らさないために袋を持つ。これは、ペットを飼育する人の最低限のマナーでしょう。動物の習性に応じた、責任ある飼育管理をお願いしたいものです。

また近年は、ペット公害といわれるほど、ペットに関する苦情が市役所へ多く持ちこまれています。たとえば「犬に咬みつかれた」、「隣の犬の吠える声で安眠できない」などです。いま市内では、未登録犬も含めると約千四百頭の犬がいるとみられ、七軒に一頭の割合で犬が飼われていると推測されています。犬や猫などのペット類は、飼っている人にも大変可愛いものですが、でも、飼っていない人、犬、猫が嫌いな人にとっては、大変な迷惑となることがあります。よく聞く話に、郵便配達員が犬に吠えられた、襲われた、というのがありますが、人に迷惑をかけるために、犬、猫にかざらず、ペット類は絶対に放し飼いにしないでください。そして外へ連れ出すときは、短く、丈夫な綱をつけ、糞公賞害をまき散らさないために袋を持つ。これは、ペットを飼育する人の最低限のマナーでしょう。動物の習性に応じた、責任ある飼育管理をお願いしたいものです。

市街地に緑が 欲しいですね

都市化が進むにつれて、環境緑化がますます重要になってきています。新津市は一



公園の数はまだまだ不足気味です

見ると、緑豊かな田園都市のような感じがします。でも秋葉丘陵地帯は別として、周囲が農地であるために、緑が多いと感じられるだけなのです。残念ながら稲や野菜は樹木と違い、緑化の対象とはなりません。

市街地においては、「森」、「杜」といえるところが、全くといっていいほど見当たりません。かつて駅前通りには、プラタナスの並木がありましたが、また市街地中央部には、広大な桂の森もありましたが、いずれ



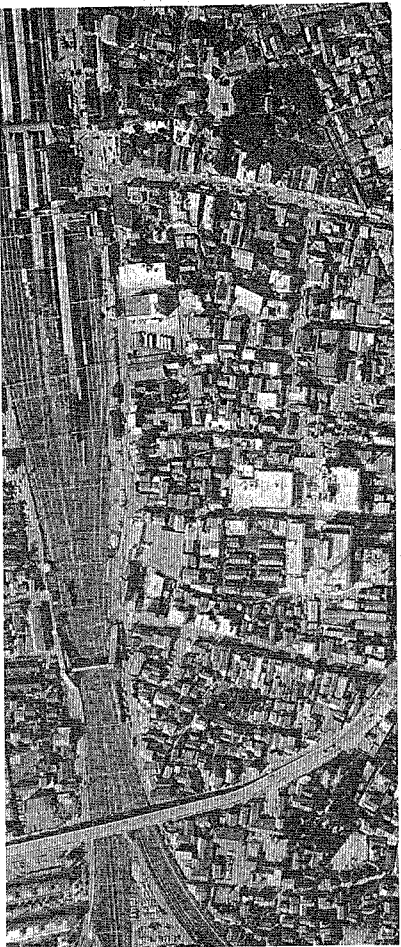
緑豊かなまちづくりを進めるために「市民植樹祭」(写真上)、「青空緑化教室」(写真下)などを開いています

も今はコンクリートの建物で埋められてしまっています。時代の流れとはいえ、惜しい限りです。人間の感覚として、「緑があるなあ」という実感を持つのは、緑被率(上空から見て緑に覆われている割合)が二

〇%以上になったときといわれています。ところが新津市の場合、航空写真などを見る限り、市街地ではそれが五〇程度ではないかと推測されます。やすらぎと潤いを与える緑が、こんなに少ないのでは寂しい限りですね。

緑のまちづく りを進めよう

ともかく、公園・緑地が絶対的に不足しているのが現状です。そこで市では、「緑のマスタープラン」に基づいて、逐次、公園・緑地の拡大を図っていくことにしています。たとえば、駅周辺の再開発を行う場合にはグリーンゾーンを確保したり、将来、能代川現川を一大グリーンベルトにする構想もあります。都市化と緑被率が反比例するようでは困ります。市民憲章にあるように、「自然に恵まれた緑のまちづくり」を進めるためには、私たち市民も企業も行政も、一緒になっての不断の努力が必要なのです。



緑が少ない市街地(54年9月撮影)

お買物、ご用命は市内で

11時～2時迄
サービス・天ぷら定食…¥400
特製みそラーメンをどうぞ

食堂 まつさか ☎2-3981

秋葉山が素晴らしくなりました
団体様の弁当より、
そば・丼物・一品料理
名物おでん
噴水広場の上 無料休憩所
食堂・松櫻 2-0345
4-4972



お買物、ご用命は市内で

スタジオサカヅメ
新津市本町四丁目5-1 ☎4-6211

文部省認可
結婚写真撮影
免許・証明写真
お見合写真

第一小学校
本町
中津
五反田
新町
能代川
新津店

花に託して心を贈る
慶弔用贈花・供花の御用命は
新町一丁目 **小林生花店**
TEL(2)-1080・(2)-5707(各流派いけばな教室案内)